

## はじめに

現在、フリーター417万人、ニート68万人、憂慮すべき事態が現実的になってきています。

このような社会の中で、職業に就くまでの12年間で必要な能力を生徒に育成させることが、今の学校教育における課題です。そのために、生徒自身が自己理解を深め、キャリア諸能力を身に付けることが大切だと考えます。

このことを解決するために、これからの学校教育の中心は、職業観・勤労観の育成である「キャリア教育」です。自分の能力や個性を知り、将来の自分を見つめながら自分のキャリアをどのように育てていくかです。

そこで、本研究ではキャリア能力を育成するために、キャリア指導案の活用を通して生徒に職業観・勤労観を育成することができると考えました。そのためにキャリア指導案を作成し、提言を図ったものがこの資料編です。

この資料編をモデルとして各学校で取り組んでいただけることを期待しています。そして、キャリア諸能力を育成するための方法が各学校で開発されることを期待しています。